



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル
コード番号 8275 URL <https://www.forval.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 将典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	51,957	13.0	2,343	22.6	2,477	17.5	1,370	10.9
2024年3月期第3四半期	45,981	9.2	1,911	77.3	2,109	61.5	1,236	104.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,325百万円 (△0.1%) 2024年3月期第3四半期 1,327百万円 (81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	52.46	—
2024年3月期第3四半期	48.08	48.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	40,356	19,391	41.7
2024年3月期	40,730	17,750	40.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 16,835百万円 2024年3月期 16,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	5.5	3,600	11.3	3,700	7.0	2,100	4.4	80.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	27,732,622株	2024年3月期	27,732,622株
2025年3月期3Q	1,687,500株	2024年3月期	1,534,469株
2025年3月期3Q	26,125,388株	2024年3月期3Q	25,710,142株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済が緩やかに成長する中で輸出や生産は横ばいで推移しました。一方、企業収益が改善する中、設備投資や雇用・所得環境は緩やかに改善し、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも堅調に推移しました。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT、AIなどを活用したサービスが拡大しています。

このような経営環境下、当社グループは「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」として企業経営を支援する集団となり、中小・小規模企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育）」、「企業のライフサイクルに対応した経営コンサルティングサービス（起業・事業承継）」の5分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

現在は、国の「経済財政運営と改革の基本方針2024～賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現～」に則ってF-Japan戦略を推進し、骨太方針の中でも特に「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に着目し、自治体・民間企業・教育機関と連携し、地域経済活性化のためのDX促進に取り組んでいます。

地方自治体の運営を取り巻く環境は大きく変化しており、活力ある地方を取り戻すためには、地域の産業を復興し住民の生活の質を向上させ地域としての魅力を高めていく必要があります。そのためには、デジタルを活用した行政サービスを提供していくことが必須となっており、国もその実現に向けて全面的に支援しています。

当社グループが注力しているF-Japan戦略は日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環が持続的な地方創生を実現するのに不可欠であると考えており、その実現に向けて各地方自治体における「DX・GX人材の育成」「DX・GX人材の就職・起業」「DX・GX人材による地域経済の活性化」の仕組みづくりを、デジタル人材を派遣し、現状や課題を可視化しながら伴走支援しています。

さらには、人材を費用・コストとして捉えるのではなく、その人が持つ能力やスキルを資本として捉え、その価値を最大限に引き出すことで企業価値の向上につなげる「人的資本経営」をはじめとした「ESG経営」が長期的な成長に欠かせない重要な要素となる中で、次世代型のデータ活用により新たな価値を共創する経営情報分析プラットフォーム「きづなPARK」で財務や非財務などの経営情報を可視化しながら中小・小規模企業の「ESG経営」を伴走支援しています。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のようになりました。

第3四半期連結累計期間の経営成績は、中小・小規模企業や自治体におけるDX推進の機運の高まりを受けて可視化伴走型経営支援事業が堅調に推移したほか、電力サービスや太陽光システムの増加や、新たに連結に加わったグループ会社の寄与もあり、売上高は前年同期に比べ5,976百万円増加し、51,957百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ2,143百万円増加（前年同期比13.2%増）した一方で、販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人員増強や情報処理費、M&Aに伴う取得費用やのれんの償却費の増加等の影響があったものの前年同期に比べ1,711百万円増加（前年同期比11.9%増）にとどまった結果、営業利益は2,343百万円（前年同期比22.6%増）、経常利益は2,477百万円（前年同期比17.5%増）、法人税等調整額が前年同期に比べ245百万円増加したことで親会社株主に帰属する四半期純利益は1,370百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

可視化伴走型経営支援事業が堅調に推移したほか、(株)エルコムなどのグループ会社や(株)Meisinなどの新たに連結されたグループ会社が寄与した結果、売上高は26,159百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は1,500百万円（前年同期比42.4%増）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

電力サービスが増加した結果、売上高は18,576百万円（前年同期比10.6%増）、セグメント利益は811百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

自家消費ニーズの高まりを受けて太陽光システムが増加した結果、売上高は5,003百万円（前年同期比19.0%増）、セグメント利益は132百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

<人的資本経営>

㈱タニタヘルスリンクなどの新たに連結されたグループ会社が寄与した結果、売上高は2,218百万円（前年同期比30.8%増）、セミナーなどの教育事業が減少した結果、セグメント利益は198百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少し40,356百万円となりました。

流動資産は26,588百万円となり、前連結会計年度末比1,358百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が566百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が716百万円減少したことによるものです。

固定資産は13,767百万円となり、前連結会計年度末比984百万円の増加となりました。これは主として無形固定資産がのれんの増加等により170百万円、投資その他の資産が投資有価証券等の増加により811百万円増加したことによるものです。

流動負債は15,529百万円となり、前連結会計年度末比1,684百万円の減少となりました。これは主として短期借入金が860百万円、未払金が414百万円、未払法人税等が181百万円減少したことによるものです。

固定負債は5,435百万円となり、前連結会計年度末比330百万円の減少となりました。これは主として長期借入金が294百万円減少したことによるものです。

純資産は19,391百万円となり、前連結会計年度末比1,641百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益1,370百万円に対し、配当金の支払い733百万円等により株主資本が571百万円、非支配株主持分が1,301百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、2024年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,928,320	11,361,888
受取手形、売掛金及び契約資産	9,878,783	9,162,104
リース投資資産	1,122,023	1,114,553
商品及び製品	932,815	1,095,291
仕掛品	88,381	182,279
原材料及び貯蔵品	295,065	336,854
未収入金	1,854,091	1,646,198
その他	1,959,780	1,836,164
貸倒引当金	△112,525	△146,907
流動資産合計	27,946,736	26,588,427
固定資産		
有形固定資産	2,559,824	2,562,876
無形固定資産		
のれん	2,706,563	2,857,211
その他	1,430,324	1,449,756
無形固定資産合計	4,136,887	4,306,968
投資その他の資産		
投資有価証券	1,949,202	2,671,441
破産更生債権等	227,019	253,548
繰延税金資産	1,819,426	1,602,326
その他	2,437,223	2,711,237
貸倒引当金	△346,003	△340,561
投資その他の資産合計	6,086,868	6,897,992
固定資産合計	12,783,580	13,767,837
資産合計	40,730,317	40,356,265
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,104,811	7,226,166
短期借入金	1,536,132	675,384
未払金	2,856,705	2,442,438
未払法人税等	704,145	522,472
賞与引当金	847,796	865,966
役員賞与引当金	255,542	217,024
その他	3,908,379	3,579,633
流動負債合計	17,213,514	15,529,085
固定負債		
長期借入金	2,552,419	2,257,828
退職給付に係る負債	2,875,668	2,852,696
役員退職慰労引当金	46,928	46,928
繰延税金負債	19,456	22,513
持分法適用に伴う負債	24,576	28,460
その他	247,102	227,003
固定負債合計	5,766,152	5,435,430
負債合計	22,979,666	20,964,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	3,119,829	3,259,809
利益剰余金	9,724,796	10,362,581
自己株式	△906,276	△1,112,083
株主資本合計	16,088,644	16,660,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377,098	158,783
為替換算調整勘定	64,657	51,491
退職給付に係る調整累計額	△44,075	△35,000
その他の包括利益累計額合計	397,680	175,274
新株予約権	9,720	—
非支配株主持分	1,254,605	2,555,872
純資産合計	17,750,650	19,391,749
負債純資産合計	40,730,317	40,356,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	45,981,359	51,957,681
売上原価	29,710,671	33,543,267
売上総利益	16,270,688	18,414,414
販売費及び一般管理費	14,359,031	16,070,967
営業利益	1,911,656	2,343,446
営業外収益		
受取利息	3,752	4,544
受取配当金	16,499	12,593
持分法による投資利益	130,860	79,173
為替差益	19,025	40,756
その他	61,163	64,562
営業外収益合計	231,300	201,631
営業外費用		
支払利息	13,110	43,352
長期前払費用除却損	12,965	—
その他	7,847	24,422
営業外費用合計	33,923	67,775
経常利益	2,109,034	2,477,303
特別利益		
固定資産売却益	1,587	110
投資有価証券売却益	12,930	230,910
受取保険金	141,520	—
移転補償金	77,578	—
資産除去債務戻入益	19,440	—
その他	9,369	9,720
特別利益合計	262,427	240,740
特別損失		
固定資産除売却損	47,089	3,456
減損損失	—	1,820
貸倒損失	—	8,880
役員退職慰労金	15,000	—
その他	1,075	3,095
特別損失合計	63,164	17,253
税金等調整前四半期純利益	2,308,297	2,700,791
法人税、住民税及び事業税	816,250	836,579
法人税等調整額	71,065	316,120
法人税等合計	887,315	1,152,700
四半期純利益	1,420,981	1,548,090
非支配株主に帰属する四半期純利益	184,955	177,676
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,236,026	1,370,414

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,420,981	1,548,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114,768	△218,314
退職給付に係る調整額	3,269	9,074
持分法適用会社に対する持分相当額	17,580	△13,165
その他の包括利益合計	△93,917	△222,406
四半期包括利益	1,327,064	1,325,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,142,109	1,148,008
非支配株主に係る四半期包括利益	184,955	177,676

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバルテ レコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	人的資本経営	計	
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	23,141,368	16,796,306	4,205,224	1,696,395	45,839,294	45,839,294
その他の収益	142,064	—	—	—	142,064	142,064
外部顧客への売上高	23,283,433	16,796,306	4,205,224	1,696,395	45,981,359	45,981,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	401,244	323,046	20,291	131,438	876,020	876,020
計	23,684,677	17,119,352	4,225,516	1,827,833	46,857,379	46,857,379
セグメント利益	1,053,701	723,084	94,416	238,350	2,109,552	2,109,552

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,109,552
セグメント間取引消去	△6,407
のれんの償却額	△191,488
四半期連結損益計算書の営業利益	1,911,656

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、(株)三知の株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては18,505千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバルテ レコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	人的資本経営	計	
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	25,897,882	18,576,072	5,003,570	2,218,723	51,696,248	51,696,248
その他の収益	261,433	—	—	—	261,433	261,433
外部顧客への売上高	26,159,315	18,576,072	5,003,570	2,218,723	51,957,681	51,957,681
セグメント間の内部 売上高又は振替高	316,381	324,851	33,137	150,912	825,282	825,282
計	26,475,696	18,900,924	5,036,707	2,369,635	52,782,964	52,782,964
セグメント利益	1,500,395	811,735	132,573	198,275	2,642,980	2,642,980

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,642,980
セグメント間取引消去	2,537
のれんの償却額	△302,070
四半期連結損益計算書の営業利益	2,343,446

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、㈱タニタヘルスリンク及びエフピーステージ㈱の株式を取得し、連結子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。報告セグメントは、各グループ会社の事業内容及びビジネスモデルに鑑み、従来「その他」に含まれていた技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等も含め、「人的資本経営」としております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「人的資本経営」セグメントにおいて、㈱タニタヘルスリンク及びエフピーステージ㈱の株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては518,205千円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,035,401千円	1,122,354千円
のれんの償却額	235,926千円	346,508千円